

製品名: TNF-IP 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19089**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFAIP1
別名	TNFAIP1; BACURD2; EDP1; BTB/POZ domain-containing adapter for CUL3-mediated RhoA degradation protein 2; hBACURD2; BTB/POZ domain-containing protein TNFAIP1; Protein B12; Tumor necrosis factor; alpha-induced protein 1, endothelial
遺伝子 ID	7126.0
SwissProt ID	Q13829
免疫原	抗血清はヒト TNAP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

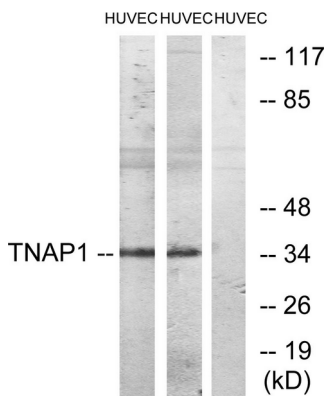
背景

この遺伝子は、臍帯静脈内皮細胞において腫瘍壊死因子 α (TNF) によって発現誘導される遺伝子として同定されました。マウスにおける類似遺伝子の研究から、この遺伝子の発現は組織特異的に発生的に制御されていることが示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: PCNA 依存性 DNA ポリメラーゼ δ 活性を増強する。誘導: TNF- α 、インターロイキン-1 β 、およびリポ多糖 (LPS) による。類似性: KCTD10/KCTD13/TNFAIP1 ファミリーに属する。類似性: 1つの BTB (POZ) ドメインを含む。サブユニット: PCNA と相互作用する。

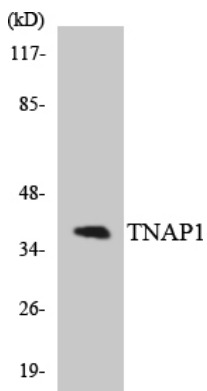
研究分野

-

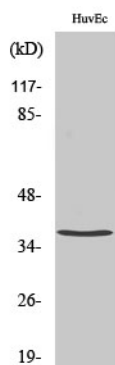
画像データ



PMA 125 ng/ml 30 μ l 処理した HUVEC 細胞ライセートの TNAP1 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



TNAP1 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



TNF-IP1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈し、様々な細胞をウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。